

平成26年度 《第3回》 重粒子線 医工連携セミナー

平成26年6月20日（金）18:00～

場所：群馬大学重粒子線医学センター
カンファレンス室

粒子線治療計画の三次元検証ツールとしての ナノコンポジットゲル線量計

前山 拓哉 先生

理化学研究所 仁科加速器研究センター

粒子線などの放射線がん治療の高度化により、より洗練された三次元線量分布が作成可能となってきています。これに対して、放射線がん治療で計画される三次元線量分布を検証可能な三次元ゲル線量計の開発を進めています。

本発表では、これまでのゲル線量計に関する研究の紹介と近年開発した放射線の種類(線質)により感度に変化しないナノコンポジットゲル線量計について紹介させていただきます。

= 共催 =



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
放射線治療人材養成8大学連携プログラム



博士課程教育リーディングプログラム
群馬大学 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

= お問い合わせ先 =

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378